

製品名: Rad51 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21428**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:37kD;Observed MW:37kD

抗原情報

遺伝子名	RAD51
別名	RAD51;RAD51A;RECA;DNA repair protein RAD51 homolog 1;HsRAD51;hRAD51;RAD51 homolog A
遺伝子 ID	5888.0
SwissProt ID	Q06609
免疫原	ヒト Rad51 の合成ペプチド

背景

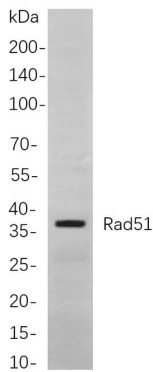
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RAD51 タンパク質ファミリーのメンバーです。RAD51

ファミリーのメンバーは、細菌の RecA やサッカロミセス・セレビシエ (*Saccharomyces cerevisiae*) の Rad51 と非常に類似しており、DNA の相同組換えおよび修復に関与することが知られています。このタンパク質は、ssDNA 結合タンパク質 RPA および RAD52 と相互作用することができ、DNA の相同対合および鎖移動に役割を果たすと考えられています。このタンパク質は BRCA1 および BRCA2 とも相互作用することがわかっており、DNA 損傷に対する細胞応答に重要である可能性があります。BRCA2 は、このタンパク質の細胞内局在と DNA 結合能の両方を制御することが示されている。BRCA2 の不活性化に伴うこれらの制御の喪失は、ゲノム不安定性および腫瘍形成につながる重要なイベントである可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



C6 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (Rad51 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。